

社会経済情勢の変化

社会全体の情勢変化による課題

- ・人口減少社会・超高齢社会への対応
- ・グローバル化への対応
- ・情報化社会への対応
- ・公共施設等の更新
- ・安全・安心に関する意識の高まりへの対応
- ・地域コミュニティの再構築

市内の主な変化による課題

- ・中央線連続立体交差事業終了に伴う国立駅周辺の整備進展とまちの融合・活性化
- ・富士見台地域のまちづくり
- ・市内の農地・自然環境の減少

国立市のポジション分析による課題

- ・富士見台地域の団地再生と南部地域の土地利用の誘導
- ・まちの付加価値を向上させる教育・文化施策の充実

市に影響を与える注目すべき変化

- ・都市計画道路整備の進捗
- ・甲州街道、さくら通りの歩道拡幅
- ・「城山さとのいえ」「(仮)矢川プラス」の整備と活用

検討事項・視点

(1) まちづくりの理念

「人間を大切にする」

第一期基本構想より40年間継続した基本理念
国立市のもっとも重要な資源は「国立市に集う市民」として位置づけ
継承することの是非
「人間を大切にする」の具体的要素は何か
まちづくりの理念に加えるべき要素はあるか

(2) 市民像・都市像

「自然を愛し、自然に学び、自然とともに生きる市民」
「まちを愛し、まちと文化を創造し、まちとともにあゆむ市民」
「人間を愛し、広く社会の平和を求め、ともに認めあいささえあう市民」

第三期基本構想の市民像を例示
第一期から表現や項目数を変えつつ引き継がれてきたもの
第四期は要素を将来像の文章として組込み
市民像の位置づけ：まちづくりの主体である市民の姿を示すもの
歴史的・時代的・社会的背景を踏まえ、市民像のあり方や要素は何か
(例) 夢・創造・挑戦・成長・違いを認め合うこと

「文教都市くにたち」

第一期基本構想より40年間継続した都市像
1950年代の「文教地区指定運動」に端を発した言葉
市内に教育機関が多いことも背景
継承することの是非
「文教都市くにたち」の具体的要素や現代的定義は何か
(例) 知的資源活用、学び育ち続けられる環境づくり、学びを生かした挑戦ができる環境づくり